

避難確保計画

対象災害：水害（洪水）

【施設名：医療法人徳洲会 札幌真駒内病院】

2025年11月作成

基本情報

基本情報

計画の名称 避難確保計画

対象災害 洪水

作成年月 2025年 11月

自衛水防組織設置の有無 有 無

添付ファイル

登録されているファイルはありません

施設情報



ユーザーID SP2455

施設名称 医療法人徳洲会 札幌真駒内病院

施設特性 **医療施設** 病院

事業所番号

所在地 北海道札幌市南区真駒内緑町1丁目2-1

行政区 南区

電話番号

洪水 0.5~3.0m未満

土砂災害 対象外

家屋倒壊等氾濫想定区域内の有無 有 無

河川詳細

対象河川	該当有無	最大浸水深	家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無
真駒内川	<input type="radio"/> 該当なし <input checked="" type="radio"/> 該当	0.5~3.0m未満	<input checked="" type="radio"/> 該当なし <input type="radio"/> 該当

土砂災害詳細

<input type="checkbox"/> 警戒区域（急傾斜）	<input type="checkbox"/> 警戒区域（土石流）	<input type="checkbox"/> 警戒区域（地すべり）
<input type="checkbox"/> 特別警戒区域（急傾斜）	<input type="checkbox"/> 特別警戒区域（土石流）	

地域防災計画 記載年度（西暦） 削除年度（西暦）

計画概要

計画の目的

[記入例](#)

この計画は、本施設の利用者の【洪水時】の発生時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、【洪水・土砂災害】に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法

水防法

施設の概要

利用形態 通所 入所（長期） 入所（短期） 建物の階数 階

施設の人数

		平日		休日				
		患者	職員	患者	職員			
昼間	約	180人	約	100人	約	80人	約	30人
夜間	約	80人	約	10人	約	80人	約	10人

施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を確認しましょう。

水害（洪水）

洪水浸水想定区域（洪水）	<input type="radio"/> 該当なし	最大浸水深	<input type="text" value="0.5~3.0m未満"/>
	<input checked="" type="radio"/> 該当	家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		<input checked="" type="radio"/> 該当なし <input type="radio"/> 該当	

土砂災害

警戒区域	<input checked="" type="radio"/> 該当なし	<input type="text" value="対象外"/>
	<input type="radio"/> 該当	

河川詳細

対象河川	該当有無	最大浸水深	家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無
真駒内川	<input type="radio"/> 該当なし <input checked="" type="radio"/> 該当	<input type="text" value="0.5~3.0m未満"/>	<input checked="" type="radio"/> 該当なし <input type="radio"/> 該当

土砂災害詳細

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 警戒区域（急傾斜） | <input type="checkbox"/> 警戒区域（土石流） | <input type="checkbox"/> 警戒区域（地すべり） |
| <input type="checkbox"/> 特別警戒区域（急傾斜） | <input type="checkbox"/> 特別警戒区域（土石流） | |

計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

防災体制

防災体制【洪水】

[記入例](#)

防災体制確立時の組織構成と役割分担

レベル	総括指揮者 全体を指揮	情報連絡班 情報収集や伝達	避難誘導班 利用者の避難支援	装備品等準備班 設備や装備品等の点検・準備
	責任者 院長・事務長	責任者 事務次長	責任者 医事課責任者	責任者 資材課責任者・施
警戒レベル 1 ↓ 災害への心構えを高める段階	人数 1名 <ul style="list-style-type: none"> 状況把握、指揮 体制確立の判断 事前休業の判断 	人数 1名 <ul style="list-style-type: none"> 気象情報等収集 施設職員への情報伝達 	人数 1名 <ul style="list-style-type: none"> (避難誘導体制の確認) (避難ルートの確認) 	人数 2名 <ul style="list-style-type: none"> (避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備)
警戒レベル 2 ↓ 注意体制	人数 2名 <ul style="list-style-type: none"> 状況把握、指揮 施設職員等招集 (避難開始判断) 	人数 2名 <ul style="list-style-type: none"> 気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集 施設職員や避難支援協力者へ連絡 	人数 2名 <ul style="list-style-type: none"> 避難誘導体制の確認 避難ルートの確認 (避難誘導開始) 	人数 2名 <ul style="list-style-type: none"> 避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備 移動用車両の手配
警戒レベル 3 ↓ 警戒体制	人数 3名 <ul style="list-style-type: none"> 状況把握、指揮 避難開始判断 	人数 3名 <ul style="list-style-type: none"> 気象情報、水位情報、避難情報等の収集 利用者家族等への連絡 	人数 3名 <ul style="list-style-type: none"> 避難誘導開始 	人数 3名 <ul style="list-style-type: none"> 要配慮者等の装備品の装着 移動用車両の確保 避難先への持ち出し品等を運搬
警戒レベル 4 ↓ 非常体制	人数 3名 <ul style="list-style-type: none"> 状況把握、指揮 避難先での利用者支援の監督 (緊急安全確保の判断) 	人数 4名 <ul style="list-style-type: none"> 施設職員への情報伝達 	人数 4名 <ul style="list-style-type: none"> 避難完了の確認 避難先での利用者支援 (緊急安全確保の誘導) 	人数 4名 <ul style="list-style-type: none"> 避難先での持ち出し品等の管理

<p>警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを 高める段階</p>	<ul style="list-style-type: none"> 警報級の可能性（大雨警報または暴風警報）「中」または「高」が発表された場合 台風の接近が予想されている場合
<p>警戒レベル2 ↓ 注意体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大雨または洪水注意報が発表された場合
<p>警戒レベル3 ↓ 警戒体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等避難が発令された場合 大雨または洪水警報が発表された場合 氾濫警戒情報が発表された場合
<p>警戒レベル4 ↓ 非常体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難指示が発令された場合

事前休業の判断について

早期注意情報（警報級の可能性）の「中」または「高」が発表されている場合や大型台風の襲来が予想される場合、公共交通機関の計画的な運休が予定される場合、翌日の通院（所）部門を臨時休業とする。

または午前8時の時点で、札幌市に以下のいずれかが発令されている場合は、通院（所）部門を臨時休業とする。

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

高齢者等避難
暴風警報又は特別警報
大雨警報又は特別警報
洪水警報

開業時間と利用者の通所にかかる時間を考慮して、休業の判断をする。

情報収集・伝達

情報収集・伝達

[記入例](#)

情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

	収集すべき情報	入手先
共通の 情報	【防災気象情報（気象庁）】 <ul style="list-style-type: none">早期注意情報（警報級の可能性）	<ul style="list-style-type: none">テレビ、ラジオ、気象庁HP等
	【避難情報（市町村）】 <ul style="list-style-type: none">警戒レベル3 高齢者等避難警戒レベル4 避難指示警戒レベル5 緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none">緊急速報メールテレビ、ラジオ札幌市HP・SNS・LINE防災アプリ等
	【避難所の開設状況（市町村）】 <ul style="list-style-type: none">指定緊急避難場所や福祉避難所の開設状況	<ul style="list-style-type: none">テレビ・ラジオ札幌市HP等
	道路の通行止め情報	<ul style="list-style-type: none">日本道路交通情報センターHP等
洪水	<ul style="list-style-type: none">洪水注意報、洪水警報大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報キキクル（大雨・洪水警報の危険度分布）洪水予報氾濫注意情報、氾濫警戒情報氾濫危険情報、氾濫発生情報	<ul style="list-style-type: none">テレビ、ラジオ、気象庁HPテレビ、ラジオ、気象庁HP気象庁HP川の防災情報HP等

情報伝達

	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル 1	早期注意情報	インターネット (気象庁HP)	大雨の警報級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。	情報連絡班	施設職員
	事前休業のお知らせ	統括指揮者の判断を確認	〇〇日は、大雨が予想されていますので、施設を休業することになりました。	情報連絡班	患者の家族
警戒レベル 2	職員への招集連絡	統括指揮者の判断を確認	大雨注意報が発表されましたので施設に参集してください。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	洪水注意報	インターネット (気象庁HP)	洪水注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫注意情報	インターネット (川の防災情報)	豊平川に氾濫注意情報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	大雨注意報	インターネット (気象庁HP)	大雨注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル 3	高齢者等避難	緊急速報メール	高齢者等避難が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	連絡先の開設情報	インターネット (札幌市HP)	避難先の〇〇は開設されています。	情報連絡班	施設職員
	避難開始の連絡	避難誘導に確認	〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を開始しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	洪水警報	インターネット (気象庁HP)	洪水警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫警戒情報	インターネット (川の防災情報)	豊平川に氾濫警戒情報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	大雨警報	インターネット (気象庁HP)	大雨警報が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル 4	避難指示	緊急速報メール	避難指示が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難完了の連絡	避難誘導班に確認	〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を完了しました。	情報連絡班	市役所の担当部署
	氾濫危険情報	インターネット (川の防災情報)	豊平川に氾濫危険情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	土砂災害警戒情報	インターネット (気象庁HP)	土砂災害警戒情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者

避難誘導

避難誘導

[記入例](#)

避難先、移動距離及び避難方法

①原則、施設利用者の適切な支援を提供できる近隣グループ病院に立退き避難をする。災害や受入れの状況に応じ以下の3施設を選定する。

- 1.札幌南徳洲会病院 札幌市清田区平岡5条1丁目5番1号 12.4 km 移動時間30分
- 2.札幌東徳洲会病院 札幌市東区北33条東14丁目3番1号 15.9 km 移動時間40分
- 3.札幌徳洲会病院 札幌市厚別区大谷地東1丁目1番1号 12.1 km 移動時間30分

②避難する時間が確保できない場合は、指定緊急避難場所に立退き避難をする。

③屋内安全確保の場合本施設3階の事務室に避難する。

洪水	避難先	移動距離	避難方法			移動に要する時間	避難開始基準	避難階
			徒歩	車両	その他機材			
系列施設や他の同種類似施設	 札幌南徳洲会病院 (12.4 km)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4 台 車椅子	30分	警戒レベル3 高齢者等避難	1 階
該当なし								
指定緊急避難場所	 真駒内中学校 (1.2 km)		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0 台	15分	警戒レベル3 高齢者等避難	1 階
該当なし								
近隣の安全な場所			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0 台			階
屋内安全確保	3階事務室	10 m	エレベーター、車椅子、ストレッチャー			5分	警戒レベル3 高齢者等避難	3 階
該当する災害リスク：0.5～3.0m未満（2階以上への避難が必要）								

以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する

- 家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、津波による浸水のおそれがある区域に存していないこと
- 浸水しない居室があること
- 一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること

緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより（警戒レベル5 緊急安全確保の発出などが目安）、避難確保計画に定めた場所への避難を安全にできないような、過酷な事象に遭遇した場合は以下の場所に緊急的に移動する

※本行動は、災害が発生・切迫した段階での対処であり、本来は立ち退き避難をすべきだったが、避難し遅れた際にとる次善の行動である点に留意する。

避難経路

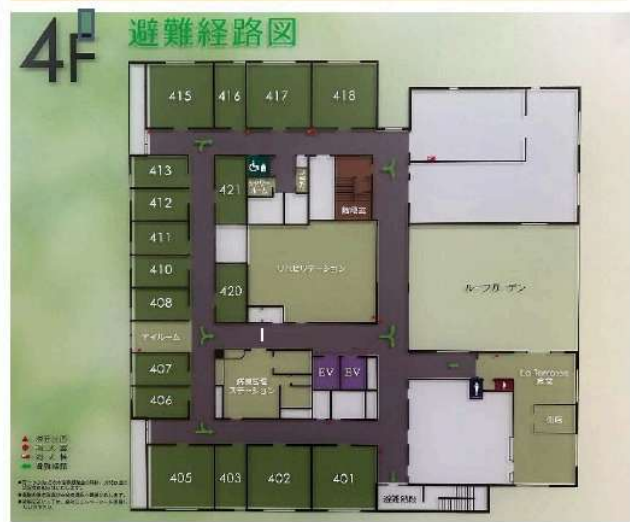
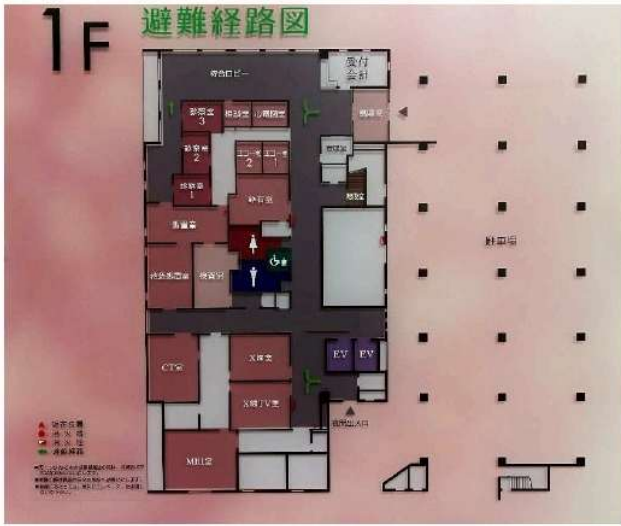
避難先までの避難経路は、【施設周辺の避難地図】【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

【施設周辺の避難地図】



【施設建物内の避難経路図】

札幌真駒内病院 避難経路図



設備・備蓄

避難に必要な設備の整備

[記入例](#)

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	2	
	上下階の移動のできる大型スロープ設置	0	
	車椅子	10	各病棟、正面玄関
	その他（担架）	5	
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	1	
	土のう	0	
	止水板	0	
	階段昇降機の設置	0	
	その他（非常用サイレン）	0	

避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ	3	3階事務室・3階当直室・1階待合室
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	30	各部署
	電話やファックス	30	各部署 FAXは3階事務室・1階受付・1階救急外来
	携帯電話やスマートフォン	50	各部署
	電池や非常用電源	100	3階事務室
避難誘導	名簿（患者）	1	医事課
	案内旗	0	
	ビブス	0	
	懐中電灯	5	各病棟
	ハンドマイク	4	各病棟
	雨具	0	
	ライフジャケットやヘルメット	0	
	避難ルートを示したマップ	1	
	救急用品	80	
	移動用の車両	4	屋外駐車場
避難先	水や食糧	0	
	衛生用品や衣料品	0	
	電池や携帯充電器	0	
その他	防寒着・毛布	0	
	携帯トイレ	0	

防災教育及び訓練

防災教育及び訓練の実施に関する事項

記入例

防災教育及び訓練の年間計画

避難確保計画の作成＝防災体制の確立

実施予定時期



避難確保計画の周知

- 施設職員、患者や患者の家族、避難支援協力者に電子データなどで避難確保計画を共有し、周知する

5 月頃

施設職員、避難支援協力者への防災教育

- 水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認
- 過去の被災経験や災害に対する知恵の伝承等

5 月頃

患者、患者の家族への防災教育

- 水害・土砂災害の危険性や避難場所の確認
- 緊急時の対応等に関する保護者・家族等への説明等

5 月頃



情報収集、情報伝達訓練

- 施設職員の緊急連絡網の試行
- 保護者・家族等への情報伝達手段（メール・電話等）の確認、情報伝達の試行等

7 月頃

立退き避難訓練

- 避難経路ごとに避難方法（車、徒歩など）を確認
- 施設から避難先までの避難に要する時間の計測等

7 月頃

屋内安全確保訓練

- 避難方法の確認
- 避難に要する時間の計測等

7 月頃



- 訓練終了後に参加者全員で訓練を振り返る

8 月頃

避難訓練結果の振り返り

- 訓練計画時に決めた訓練の目的・目標について達成度を確認し、その後、個別の反省点や行動等について意見交換する



市町村への避難訓練結果の報告

- システム内の訓練実施報告の様式に基づき札幌市に訓練結果を報告する

8 月頃



避難確保計画の見直し

- 振り返りであげられた意見や問題点を踏まえて、避難確保計画を見直す

9 月頃